

分野：②

学校ビオトープで外来植物抜きと野草を植えて水辺の観察

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 所沢市立西富小学校 1年（79人）

所要時間  1時間 40分

場所 所沢市立西富小学校

実施時期 令和3年6月18日

概要

学校ビオトープで外来植物抜きと野草を植えて水辺の観察

プログラムの
ねらい

2020年から始めた森と草地と水辺のビオトープづくりに新しい1年生も参加するので、ビオトープの説明をする。
外来植物を抜いて野草を植える。水辺の生きもの探しとクロメダカを放流する。
シャベルを使って野草を植える

プログラムの内容

1 説明と注意点（5分）

ビオトープの説明、外来植物の見つけ方、
1 クラス40分の授業、2 班に分ける

2 草地で外来植物を抜く（15分）

外来植物を見つけて抜く

3 水辺で外来植物を抜く（15分）

水辺の周りで外来植物を見つけて抜き、野草を植える
水辺からクロメダカを放流する

4 道具の片付け（5分）



受講者の反応

草の中にバッタがたくさんいたのでうれしかった。
野草を植えたのでチョウが卵を産みにきてくれる。
花咲いていてきれいでも外来種は抜きました。
クロメダカとヒメダカの違いを教えてくださいました。
メダカがいるとボウフラがいなくなると教えてくださいました。

環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要

